

4年ぶりの開催、ひと味違うジャガイモ



掘り取り体験を楽しむ親子

「第12回じゃがいもまつり」が4月30日、夢追い長島花フェスタ会場（町B&G体育館周辺）で4年ぶりに開催され、町内外から約6000人の来場者が詰めかけました。

午前9時の開場を前に掘り取り体験の受付テント前には来場者が大行列をなしてにぎわいをみせました。

オープニングセレモニーでは、チアリーダーとフラダンスの演技が披露されると、会場は歓声に包まれました。実行委員長鹿兒島いずみ農協、京田提樹常務が「1月の積雪被害に耐えた、ほかとはひと味違うジャガイモ。このおいしさをみんなに伝えてください」とあいさつがあり、開幕しました。

会場内の畑で行われた堀

り取り体験には、親子連れを中心に多くの来場者が参加しました。

薩摩川内市から孫と一緒に来た中野幹雄さんは「久しぶりの開催が待ち遠しかった。今年も変わらず面白い、家で食べるジャガイモ料理が楽しみ」と当日の曇り空をかき消すような笑顔で話しました。

そのほか、先着2500人に準備されたジャガイモの無料配布や詰め放題には、長蛇の列ができ、あふれんばかりのジャガイモが入った袋を手に掲げた来場者からは笑みがこぼれていました。



あいさつする京田委員長



詰め放題、みんな笑顔でお持ち帰り



掘り取り体験をした中野さん一家